

三浦大輔さんトーク 最後のボールに涙

そごう横浜店にファン400人

昨年、現役を引退した横浜DeNAベイスターズの元投手、三浦大輔さんのトークショーと握手会が4日、そごう横浜店（横浜市中区）で開かれた。テレビのコマーシャルに三浦さんを起用する老舗菓子メーカーの「ありあけ」が主催。抽選で選ばれた100人に加え、300人の立ち見客が藤木久三・ありあけ会長と三浦さんの対談に耳を傾けた。



引退試合について語る三浦大輔さん（写真中央）と藤木久三会長（同左）＝横浜市西区で

藤木会長は元高校球児で社会人野球でも活躍した経歴の持ち主。話題は昨年9月29日に横浜スタジアムであった三浦さんの引退試合が中心に。「最後のボールは初めて涙を流しながら投げた」と三浦さんが明かすと、当日

に球場にいたという藤木会長が「涙を流しながら野球を観戦したことは初めて。ボールの売り子さんも泣いていた」と応じた。

また、三浦さんは引退までの25年間を振り返り「学生の間は一人で生きていけると勘違いしていたが、野球界に入っているいろいろな人に助けられて生きていくと実感した。野球人口を増やしたいのではなく、野球を見た人が何かをするきっかけになればと思うってプレーを続けていた」と語った。

【水戸健一】